

報道関係各位

特定非営利活動法人 放課後NPOアフタースクール

## 大切な人と生きる未来のために、子どもたちが社会に問いかける 「物語で想いを伝えるプロジェクト 千駄木 act」スタート！

特定非営利活動法人放課後NPOアフタースクール（東京都港区）は、子どもの育ちも学びも地域社会で応援する放課後を日本中につくることが目指し活動しています。

本プロジェクトは、子どもと大人が対話を重ねて地域の課題や可能性を自分ごと化し、小学生と高校生が協力してイメージネーションを膨らませながらショートフィルムを制作することで、**みんなが願う未来の形を10代ならではの視点で社会に提案**します。教育機関等とも協働しながら将来的に全国どこでも誰でも取り組める形にモデル化し、新しい学びや地域づくりの事例として広く社会に広がることを目指します。予測不可能な時代を迎える今、大切な10代に何を学ぶべきか。地域で子どもを育ててきた日本ならではの学びを追い求めたく、ぜひその一歩を目撃していただけますと幸いです。

### 開催概要

	日程	内容
シーンづくり編 (小学生編)	【DAY1】 2019年10月25日 (金) 15:30～16:50	地域の大人たちから千駄木の街が大切にしてきたことは何かを聞き、気づきをまとめる。
	【DAY2】 2019年10月29日 (火) 15:30～16:50	地元大学の実践から文京区の未来を考え、その未来で自分がどうありたいかを知る。
	【DAY3】 2019年11月5日 (火) 15:30～16:50	みんなが願う地域の未来を目指すために学校で何を学ぶか、物語のシーンを考える。
映画づくり編 (高校生編)	【DAY1】 2019年11月12日 (火) 15:30～18:00	チーム分け、プロット作り
	【DAY2】 2019年11月15日 (金) 15:30～18:00	脚本制作
	【DAY3】 2019年11月21日 (木) 15:30～18:00	構成・コンテ制作
	【DAY4】 2019年11月22日 (金) 15:30～18:00	制作・撮影準備
	この期間にiPadを貸出し、参加者は自主的に撮影を行う	
	【DAY5】 2019年12月17日 (火) 15:30～18:00	編集レクチャー ※以降自主的に進める
	【DAY6】 2019年12月23日 (月) 15:30～18:00	編集中間サポート ※年内完成
	【DAY7】 2020年1月14日 (火) 15:30～18:00	発表準備
発表	2020年1月26日 (日) 文京区「コミュニティプラザ」での発表を予定。*出展者発表までは未定	
AND more	文京区 成澤区長への発表を調整中	

会場：小学生編／非公開となっておりますので、ご取材希望をいただいた方に個別でご案内いたします。

高校生編／東京都立向丘高等学校 他 ※日程により異なる可能性がございますのでこちらも別途ご案内いたします。

参加者：区立小学校児童（小学4年～6年／定員15名）および区内高等学校生徒（定員15名）／参加費無料

企画・運営：特定非営利活動法人放課後NPOアフタースクール

協力：文京区千駄木近隣地域にお住まいの方々 他、地域を愛する皆様

講師：株式会社イグジットフィルム 田村祥宏氏  
フィルムディレクター／クリエイティブファシリテーター

**EXIT**  
FILM



映画的な演出や作家性を活かした作品を手がけ、国内外で様々な賞を受賞。近年、社会課題をテーマに課題当事者とクリエイターが共創するプロジェクトに取り組んでいる。2017年にはオランダ・デンマークのクリエイティブ教育や市民教育の事例をヒントに、中学生が実社会で役立つ多様なスキルや姿勢を身につけることを目的としたクリエイティブ教育プログラムを実施。現在、様々な企業と連携し、脚本術を用いた価値創造の手法を開発中。

## ■10才を超えると下がり出す日本人の自己肯定感～子どもたちが夢を持って大人になれる社会を作りたい～

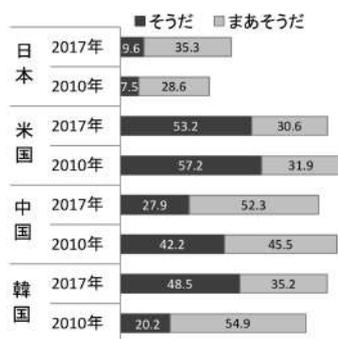


図40 私は価値のある人間だと思う

日本の子もたちの自己肯定感の低さが注目されて久しいですが、一向に改善に向かわないことに深刻さを感じています。とりわけ10歳以降、年齢が上がるたびに下降傾向にあり、受験や就職のために忙しく過ごした末、楽しそうに働いていない多くの大人たちを見て、将来への希望を描けないのではないのでしょうか。本企画は成長するたびに学びが深く楽しくなっていくと感じられるために、小学生が願う未来をきっと実現していく世代である高校生にバトンパスすることで、「なぜ学ぶのか」という問いは自分や大切な人が生きる社会をみんなで創るためだという実感を得られたらと願い、コラボレーション企画にしました。

左図：独立行政法人国立青少年教育振興機構「高校生の心と体の健康に関する意識調査報告書」(2018)より

## ■失われるものが多い時代に守りたいものは、人と人との出会いやつながりの中できっと見つかる。

度重なる自然災害や価値観の変化。日本のどこにいてもこれまで大事にしていたものが失われていく時代を私たちは生きています。テクノロジーの発達によりコミュニケーション手段は増えてきましたが、SNSで裏アカウントをいくつも作り、自分らしくいられる場所を求め続け、また自己表現手段に模索している若い世代をどうしたら応援できるのか。彼らが抱える孤独や不安を豊かなコミュニティが和らげられ、大人になるまでの成長軸を見守り、本当の意味で「地域で子どもを育てる」ために、もう一度放課後という時間のあり方を問い直してみたいのです。地域みんなで子どもを応援し、大人自身も生き生きと働き楽しむ姿を子どもたちに見せることができれば、本当の「好き」が見つかり、オリジナルの将来図を描きながら「こうありたい」と願う未来や自分自身が見えてくると信じています。

## ■担当者の声～大切なのは一人ひとりのイマジネーション。映画は伝える手段、生きる手段になったらいい～

時代の変化と共に教育のあり方が問い直され、2020年には日本でも大きな変革がやってきます。子どもたちが楽しく生きていくために放課後ができることは何でしょうか。本来、放課後の時間は子どもたちにとって友達と思いきり遊び、いろんな事にチャレンジしながら好きなことや得意なことを見つけられる時間です。世の中が変わり、社会で求められるものが変わっても、子どもたちがそれぞれ大事にしたいことや大切な人・ものを見つけていくことを応援し続けたい。そのために地域で子どもを応援する放課後が日本中に必要だと思っています。友達や多様な人との出会いの中に新たな好きや関心との出会いもあり、それはきっと子どもたちの世界を広げてくれるはずで。

子どもたちが想いをちゃんと伝えられる社会でありたい。大人もまた向き合い、共に対話をしながら地域も未来も創っていききたい。

子どもたちが持つ素晴らしいイマジネーションを形にすることがきっとこれからの時代を生きていく彼らの力になっていくと信じ、本企画を立ち上げました。映画は手段の1つですが、一人ひとりの物語が交差して「みんな違ってもいい」という価値観を共有することができ、人々の願いを力強く伝えていく映画表現の持つ力を子どもたちが生きるために使ってくれたらと願っています。(放課後NPOアフタースクール/すすきかおり)

## ■ご取材を希望くださる方は以下のフォーム (URL/QR) またはメールにてご連絡ください。

取材申込みフォーム <http://bit.ly/20JUvqh>



### 子どもたちの健やかな成長のために～放課後改革に挑戦～

昨今、学童保育の不足が社会課題として深刻化。子どもにとっての学びある豊かな時間が保証されていない現代の放課後は、子どもたちのチャレンジ意欲や自己肯定感を低下させています。

私たちは、学校施設を活用し、地域の大人＝「市民先生」と共に本物の技や知恵を子どもたちに届けるアフタースクールを展開。また、様々な企業等と協働し、社会全体で子どもを育てることに挑戦しています。(年間のべ20万人以上の子どもが活動に参加)

アフタースクール開校数：20校/連携企業200社以上/市民先生5,000人以上

アフタースクール、全国で！ **放課後NPO**  
アフタースクール

### 本件に関するお問合せ先

特定非営利活動法人  
放課後NPOアフタースクール  
本部事務局/広報(鈴木)

TEL: 03-6721-5043

MAIL: [press@npoafterschool.org](mailto:press@npoafterschool.org)